新たな宮津の教育の創造
Version2.0学びの時代

学びの深化プロジェクト

●「変化していく社会で、ともに学び合い、挑戦し、ふるさとみやづへの愛と誇りを持って、明日の宮津を創造していく人」を育む教育の具現化を図り、Agency(※エージェンシー)を育む「宮津の新しい教育」を構築するプロジェクト

※Agency(エージェンシー)…変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任を持って行動する能力

【Mission】
①子どもが主体で学ぶ教育環境の確立
②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
③主体的・対話的で深い学びの具現化による学力向上
④教科等の学びを日常生活や地域課題で発揮する学習デザインの創造
⑤主体的に学ぶ教職員集団の構築

【取組】
・研究実践校の設置による研究効果の波及(吉津小学校)
・一般公募による研修チームの発足
・誰もが参加できる研修会
・学校の実践課題へのサポート訪問の充実　等

子どもの学びと大人の学びは相似形に

令和5年度
教育ギャラリーの
一部です。
詳細は
デジタル資料に
掲載しております。

R5宮津市教育フォーラムに
係る資料はこちらから

コミュニケーション教育

●「話し合う・創る・表現する」ワークショップ等を通じた子どもたちのコミュニケーション能力の育成を図る。

＜演劇的手法を取り入れた活動＞
①自分とは異なる他者を意識すること
②集団を形成し、他者との協調、協働が図られる活動を行うこと
③他者意識を通して自己の存在を見つめ、思考すること
④対話やディスカッション、身体表現等を活動に取り入れつつ正解のない課題に取り組むこと

対話力　イメージの共有化
エンパシー(共感)　合意形成能力

真の主体的・対話的で深い学びの実現へ

演劇的手法を用いたコミュニケーション教育については、単に「演劇を経験する」「表現力を育む」といった直接的な方法を体得することが目的ではありません。子ども達が将来生き抜く社会は、予測困難で先行き不透明な社会になると言われています。また、グローバル化も一層進み、異なる意見や文化、価値観がある中で正解のない課題に取り組んでいく「多文化共生」の時代です。

宮津市が進めるコミュニケーション教育は、演劇的手法を取り入れた活動を通して、子ども一人一人が自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観を持つ人々と共に思考し、協力・協働しながら課題を解決し、新たな価値を生み出しながら社会に貢献することができる力を育みます。

演劇的手法を用いたコミュニケーション教育が、日々の学びに浸透し、質の高い主体的・対話的で深い学びを実現します。